

介護人材の確保について～平成 30 年度介護人材確保・育成の取組

1 介護の仕事のイメージアップ、求職者の掘り起こし等

① 介護の仕事魅力発信事業【長寿社会課】

当初予算額：2,673 千円

・ 若年層向け

28 年度において高校生向けに制作したフリーペーパー（漫画冊子）を 13,000 部増刷し、県内すべての中学校 2 年生を対象に配布することで、進路選択の際の参考にしてもらうもの。

・ 中高年齢層向け

29 年度においては俳優の村上弘明氏が出演し、元気な高齢者等を「介護助手」として雇用し、掃除・配膳など比較的軽易な作業に就いてもらう取組の普及啓発を図る番組を制作した。

30 年度においては一般県民により広く周知を図るため、29 年度の取材素材等を一部活用したポスターの制作や CM を放送することで広告効果を高め、福祉人材センター委託のマッチング支援事業につなげ、介護助手の雇用拡大を図る。

② 介護人材マッチング支援事業【長寿社会課】

当初予算額：44,792 千円

介護分野への人材の参入と定着を促進するため、介護人材キャリア支援員を配置のうえ各般の事業を実施。（岩手県社会福祉協議会（岩手県福祉人材センター）に委託）

・ 介護人材キャリア支援員の配置

・ 職場体験事業

＜一部新規＞介護施設見学バスツアー

求職登録者以外の介護に関心がある元気な高齢者や無職の主婦層を対象とした、介護の職場体験バスツアーを開催し、福祉人材センターへの求職登録、本格的な職場体験へとつなげ、最終的には事業所への就職に結びつけようとするもの。

- ・ 潜在有資格者就職支援事業
- ・ 小規模事業所面接会
- ・ 小規模事業所合同研修

③ ＜新規＞介護入門者研修事業【長寿社会課】

当初予算額：1,071 千円

中高年齢者などを中心とした介護未経験者に対する入門的研修を実施することで、多様な人材の介護分野への参入促進を図る。

また、研修を受講して終了ではなく、研修受講者と介護助手等の具体的に人材が欲しい施設・事業所とマッチングをしていくことで、介護入門者の育成から介護施設・事業所への就労に向けたマッチングを切れ目なく一貫して行うもの。

④ 岩手県福祉人材センター運営事業【保健福祉企画室】

福祉分野の職種に関する職業紹介、学校の生徒等へ福祉の仕事に関心を持ってもらうのため、出前講座、福祉に関する啓発・広報事業等の実施。（岩手県社会福祉協議会に委託）

⑤ 介護福祉士等修学資金貸付【岩手県社会福祉協議会・保健福祉企画室（長寿社会課）】

福祉・介護人材の育成及び確保並びに定着を支援するため、次の貸付事業を実施。

- ・ 介護福祉士修学資金貸付
- ・ 介護福祉士実務者研修受講資金貸付
- ・ 離職した介護人材の再就職準備金貸付
- ・ 社会福祉士修学資金貸付

2 沿岸被災地における人材確保の支援

① 介護職員採用支援事業【長寿社会課】

当初予算額：3,400 千円

新規採用職員の住宅確保（被災地対象）及び赴任（全県対象）に要する経費に対し補助。

- ・ 新規採用職員住環境整備支援事業（沿岸被災市町村対象） 2,500 千円
補助予定者 5 人 補助単価 500 千円/人
- ・ 新規採用職員就労支援事業（全県対象） 900 千円
補助予定者 14 人 補助単価【被災沿岸市町村】正規雇用 100 千円/人 非正規 50 千円/人
※被災地沿岸市町村以外は補助単価がそれぞれ 1/2

② 被災地サポート拠点職員資格取得促進事業【長寿社会課】

当初予算額：5,302 千円

被災地サポート拠点に勤務する生活支援相談員等に介護職員初任者研修の受講等を促し、サポート拠点等における支援業務の質の向上を図るとともに、将来的に介護分野への就業を促す。

補助予定者 11 人 補助上限単価 482 千円/人

3 事業所における労働環境整備・改善の支援

① 労働環境整備・改善促進事業【長寿社会課】

当初予算額：1,238 千円

介護施設・事業所における労働環境の整備・改善を促進するためのセミナーの開催。

受講料は無料。

	開催日時	開催会場		講 師	内 容	申込締切
1	8/30（木） 9:00～16:00 (8:30 受付開始)	盛岡市	岩手県高校教育会館 3F 大ホール (盛岡市志家町 11-13)	堀之内 高久 氏	介護職向けメンタルヘルスセミナー	7/31 (火)
2	8/31（金） 9:00～16:00 (8:30 受付開始)	宮古市	岩手県宮古地区合同庁舎 3F 大会議室 (宮古市五月町 1-20)			
3	11/1（木） 9:00～16:00 (8:30 受付開始)	盛岡市	岩手県高校教育会館 3F 大ホール (盛岡市志家町 11-13)	貝塚 誠一郎 氏	新入職員向け接遇・マナー研修	10/5 (金)
4	11/2（金） 9:00～16:00 (8:30 受付開始)	釜石市	岩手県釜石地区合同庁舎 4F 大会議室 (釜石市新町 6-50)			

② ≪新規≫介護ロボット導入支援事業【長寿社会課】

当初予算額：5,905 千円

介護ロボット導入による介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化など介護従事者が継続して就労するための環境整備を図るため、介護ロボットの導入を支援し、介護事業所における労働環境の整備・改善を図るもの。

- ・ 介護ロボットに関する研修会・成果発表会の開催
- ・ 事業者とメーカーのマッチング（試用機の貸出、活用方法の指導等）
- ・ 事業者に対する介護ロボット導入経費の補助（経費の 2 分の 1 の額。上限 30 万円）

4 介護職員の資質向上の取り組みの支援

○ 介護職員初任者研修受講支援事業費補助【長寿社会課】

当初予算額：7,200 千円

事業所職員の資質向上及び定着促進の取組を支援するとともに、介護施設で働きながら資格を取ることができるようにすることで、介護分野への人材の参入拡大を図るため、介護職員初任者研修の受講料を補助する（法人向け）。

また、初任者研修修了後に介護施設に介護職として就職した場合にも研修受講料を補助する（個人向け）。

- ・ 介護人材資質向上支援事業（法人向け） 4,800 千円
補助予定者 80 人 補助率 1/2 上限 6 万円
- ・ 介護人材新規参入促進事業（個人向け） 2,400 千円
補助予定者 40 人 補助率 1/2 上限 6 万円

5 市町村等の介護人材確保の取り組みの支援

○ 介護人材確保事業（介護従事者確保事業費補助）【長寿社会課】

当初予算額：10,006 千円

市町村や関係団体が行う介護人材の確保に係る事業を支援する。

- ・ 介護の仕事理解促進事業 9,817 千円
補助率 10/10（事業効果が県内全域に及ぶもの）、1/2（その他）
学校の生徒等や地域住民を対象に、介護を身近に感じてもらうとともに介護の仕事への理解を深め、介護分野への参入促進を図る事業に要する経費に対し補助。
- ・ キャリアアップ研修支援事業 189 千円 補助率 1/2
介護従事者のキャリア段階に応じたキャリアアップや組織内でキャリアアップに係る支援を行う職員を育成する研修に要する経費に対し補助。

平成 30 年度新規事業について

1 介護施設見学バスツアー～介護人材マッチング支援事業（職場体験事業）

(1) 事業概要

介護の仕事に関心がある、介護施設・事業所の業務内容を知りたいという者に対し、バスツアーを通して介護現場の理解を深めてもらうことで、福祉人材センターへの求職登録につなげ、職場体験、最終的には就労に結び付けるよう支援をするもの。

(2) 対象者

福祉人材センターへの求職登録していない方で介護の仕事に関心のある方、就労を希望している一般の方（学生・高校生除く。）

(3) 募集定員等

定員 20 名 福祉人材センターHPで募集 参加費無料

(4) 実施（県社協委託）

福祉人材センター職員及び県内 6 か所に配置するキャリア支援専門員がバスに同乗して参加者を引率し、適宜、参加者に対し助言を行いながら、概ね以下の通り実施。

※スケジュール 集合⇒ 施設①見学⇒ 施設②見学⇒ 情報交換会・質疑応答⇒ 解散

(5) 見学コース

① 実施済実績

【盛岡エリア】

- ・期日：平成 30 年 7 月 11 日（水）
- ・参加者数：12 名（うち 9 名が新たに求職登録）
- ・訪問施設：①特別養護老人ホームにいやま荘、②ケアセンター南昌

② 今後の実施予定（募集中）

【二戸エリア】

- ・期日：平成 30 年 10 月 5 日（金）
- ・訪問施設：①特別養護老人ホームわくわく荘、②特別養護老人ホーム結愛ホーム

2 介護入門者研修事業

(1) 事業概要

中高年齢者などを中心とした介護未経験者に対する入門的研修を実施することで、多様な人材の介護分野への参入促進を図る。

また、研修の受講だけではなく、研修受講者と具体的に人材が欲しい施設・事業所とマッチングをしていくことで、介護入門者の育成から介護施設・事業所への就労に向けたマッチングを切れ目なく一貫して行うもの。

(2) 対象者

退職者、中高年齢者、子育てが一段落した専業主婦等の介護未経験者

(3) 募集定員等

20 名程度（2 回開催、各回 10 名） 受講料無料

(4) 実施（県社協委託）

① 開催回数

2 回（第 1 回：10 月 第 2 回：11～12 月予定）

② 研修カリキュラム（詳細は、「別添 2 厚生労働省社会・援護局福祉基盤課長通知」を参照）

・基礎講座 3 時間

（介護に関する基礎知識 1.5h、介護の基本 1.5h）

・入門講座 18 時間

（基本的な介護の方法 10h、認知症の理解 4h、障害の理解 2h、介護における安全確保 2h）

計 21 時間

3 介護ロボット導入支援事業

(1) 事業概要

介護ロボット導入による介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化など介護従事者が継続して就労するための環境整備を図るため、介護ロボットの導入を支援し、介護事業所における労働環境の整備・改善を図るもの。

(2) 実施（①、②及び③は、いきいき岩手支援財団委託）

① 介護ロボットに関する研修会

- ・対象者

県内に所在する介護施設・事業所の経営者、管理者及び職員並びに介護ロボットに関心のあ
る一般県民

- ・募集定員等 50 名程度

- ・実施（予定） 年 1 回開催（9 月下旬）

- ・主な内容（予定）

介護ロボットに関する有識者等による講演、介護ロボットの展示・体験会など

② 介護ロボットに関する導入成果発表会

- ・対象者

県内に所在する介護施設・事業所の経営者、管理者及び職員並びに介護ロボットに関心のあ
る一般県民

- ・実施（予定） 年 1 回開催（1～2 月予定）

- ・主な内容（予定）

介護ロボットを実際に導入している施設・事業所の職員による導入成果の発表

③ 介護事業者と介護ロボット販売業者とのマッチング

- ・対象者

県内に所在する介護施設・事業所

- ・実施（予定） 随時（8～3 月）

- ・主な内容（予定）

介護事業者からの介護ロボットに関する各種質問・相談の受付、適切な介護ロボット及び介
護ロボット販売事業者の紹介など

（必要に応じて導入前・導入後の事業所訪問等により、ニーズ把握・フォローアップ）

④ 介護ロボット導入経費補助（詳細は、別添 3 を参照）

- ・対象者

県内の介護サービス事業者

- ・対象となるロボット

以下の全 3 要件を充足する介護ロボット導入（購入又はリース）に要する経費を補助

（i） 目的要件（移乗、移動、排泄、見守り、入浴又は介護業務支援）

（ii） 技術的要件（経産省事業において採択された介護ロボット等）

（iii） 市場的要件（一般に購入又はリース可能なもの）

- ・補助率

2 分の 1（上限 30 万円）

- ・対象経費

介護ロボット導入に要する備品購入費、使用料・賃借料、需用費及び役務費

（リースの場合は、3 年以上のリース契約の初年度分）

介護人材マッチング支援事業
「介護の職場見学会」魅力発見バスツアー実施要領

1 目的

対象地域において介護の仕事に関心がある方や、これから就労を考えている方を対象に、介護施設の見学会を実施し、実際の仕事の現場や職員による説明の機会を通して、介護の仕事への理解を深め、その魅力を感じてもらうことで、就労へつなげることを目的に開催する。

2 主催

岩手県

社会福祉法人岩手県社会福祉協議会（岩手県福祉人材センター）

3 共催

岩手労働局

4 開催日時及び見学先

（１）【盛岡エリアコース】定員２０名

平成３０年７月１１日（水）１２：３０～１６：３０

① 社会福祉法人紫波会 特別養護老人ホーム「にいやま荘」

② 医療法人社団帰厚堂 介護老人保健施設「博愛荘（医療福祉多機能ビルケアセンター南昌）」

（２）【二戸エリアコース】定員２０名

平成３０年１０月 ５日（金）１２：３０～１６：３０

① 社会福祉法人いつつ星会 特別養護老人ホーム「わくわく荘」

② 株式会社結愛サービス公社 特別養護老人ホーム「結愛ホーム」

5 参加対象者

岩手県福祉人材センターに求職登録をしていない方で、介護の仕事に関心のある方や、就労を希望している一般の方（学生は高校生を除く）

6 見学会の内容及び受入費用

（１）見学の内容は次のとおりとする（事前に対応する施設職員への説明会を実施）

① 当該施設の概要説明

② 施設見学

③ 質疑応答

（２）受入費用

見学を受入れた施設には１回につき５，０００円を支払う。

7 参加費用

無料（ただし、集合場所までの費用は自己負担）

8 見学スケジュール

盛岡エリアコース 7月11日（水）		二戸エリアコース 10月5日（金）	
12：20	集合・受付（ふれあいランド岩手）	12：20	集合・受付（二戸地区合同庁舎駐車場）
12：40	バス出発	12：40	バス出発
13：00	施設①着・見学	13：00	施設①着・見学
14：00	見学終了・移動	14：00	見学終了・移動
14：30	施設②着・見学	14：30	施設②着・見学
15：30	見学終了・移動	15：30	見学終了・移動
16：00	情報交換会・質疑応答（ふれあいランド岩手）	16：00	情報交換会・質疑応答（二戸地区合同庁舎）
16：30	解散	16：30	解散

9 参加申込

- （１）参加希望者は「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、FAX、郵送、または岩手県福祉人材センター窓口に申し込むこと。

なお、申込書は本会ホームページ（<http://www.iwate-shakyo.or.jp/jinzai/index.html>）からダウンロードも可。

- （２）申込期限は両日とも10日前までとする。（当日都合により参加できない場合は必ず連絡をすること）

10 その他

- （１）万が一の事故等に備え主催者がボランティア行事用保険に加入する。
- （２）施設見学での留意事項は当日バスの中で説明する。
- （３）参加申込書をもって取得した個人情報については岩手県社会福祉協議会が定めるプライバシーポリシーに基づき、当事業の業務以外の目的では使用しません。

<申込先及び問合せ先>

社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会 岩手県福祉人材センター（担当：三浦・佐々木）

〒020-0831 盛岡市三本柳8地割3 ふれあいランド岩手

TEL：019-601-7061 FAX：019-637-9612

E-mail：y-miura-shakyo@mopera.net

社援基発 0330 第 1 号
平成 30 年 3 月 30 日

各都道府県民生主管部（局）長 殿

厚生労働省社会・援護局福祉基盤課長
（ 公 印 省 略 ）

介護に関する入門的研修の実施について

「介護人材に求められる機能の明確化とキャリアパスの実現に向けて」（平成 29 年 10 月 4 日 社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会報告書）では、介護人材のすそ野の拡大に向けて、介護未経験者が受講しやすい入門的研修の導入の必要性が提言されており、「この入門的研修の内容については、できるだけ基本的な内容とするとともに、介護未経験者が介護分野への参入の障壁となっていることを払拭できるような内容とすることが重要」とされている。

今般、当該報告書を踏まえ、より多くの方が介護を知る機会とするとともに、介護分野で働く際の不安を払拭できるようにし、多様な人材の確保に向けて、介護分野への介護未経験者の参入を促進するため、下記の通り介護に関する入門的研修の実施に関する基本的な事項を定めたので、地域医療介護総合確保基金を活用のうえ、積極的に実施していただくとともに、管内市区町村、関係機関、関係団体等に対して周知願いたい。

記

1. 入門的研修の目的

介護に関する入門的研修（以下「入門的研修」という。）は、これまで介護との関わりがなかった者など、介護未経験者が介護に関する基本的な知識を身につけるとともに、介護の業務に携わる上で知っておくべき基本的な技術を学ぶことができるよう研修を実施し、介護分野への参入のきっかけを作るとともに、介護の業務に携わる上での不安を払拭することにより、多様な人材の参入を促進するために行うものである。

2. 入門的研修の主な対象者

入門的研修の主な対象者は、企業等で定年退職を予定している者や、中高年齢者、子育てが一段落した者などが考えられる。

なお、この他、地域住民や学生などにも幅広く研修を実施いただくことも可能である。

3. 実施主体

入門的研修の実施主体は、都道府県及び市区町村とする。ただし、民間団体への委託により実施することもできる。

また、民間団体への委託により実施する場合には、研修の趣旨や目的を的確に理解し、研修内容を適切に実施できる講師を確保している民間団体を選定するものとする。

4. 研修内容及び研修時間数

研修科目		研修時間数	研修内容
基礎講座	介護に関する基礎知識	1.5時間	○ 介護に関する相談先（市区町村の窓口、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所） ○ 介護保険制度の概要（サービスの種類、利用手続き、利用者負担など） ○ 介護休業制度などの仕事と介護の両立支援制度の概要（介護休業や介護休暇などの内容や利用手続きなど）
	介護の基本	1.5時間	○ 介護における安全・安楽な体の動かし方（ボディメカニクスの活用） ○ 介護予防・認知症予防に使える体操（介護予防の理解、手軽に取り組める指先や手などを使った体操の紹介）
入門講座	基本的な介護の方法	10時間	○ 介護職の役割や介護の専門性 ○ 生活支援技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等に係る介護や支援の基本的な方法） ○ 老化の理解（老化に伴う心身機能の変化と日常生活への影響など）
	認知症の理解	4時間	○ 認知症を取り巻く状況（認知症高齢者の今後の動向や認知症に関する施策など） ○ 認知症の中核症状とBPSD、それに伴う日常生活への影響や認知症の進行による変化 ○ 認知症の種類とその原因疾患、症状、生活上の障害などの基本的な知識 ○ 認知症の人及びその家族に対する支援や関わり方
	障害の理解	2時間	○ 障害の概念や障害者福祉の理念（ノーマライゼーションやICFの考え方）

			○ 障害特性（身体、知的、精神、発達、難病等）に応じた生活上の障害や心理・行動の特徴などの基本的な知識 ○ 障害児者及びその家族に対する支援や関わり方
	介護における安全確保	2 時間	○ 介護の現場における典型的な事故や感染など、リスクに対する予防や安全対策、起こってしまった場合の対応等に係る知識 ○ 介護職自身の健康管理、腰痛予防、手洗い・うがい、感染症対策等に係る知識
合計時間数		2 1 時間	

5. 修了証の発行について

基礎講座及び入門講座の研修を修了した研修受講者に対して、修了証明書を発行するものとする（修了証の雛形は別紙を参照）。

6. その他の留意事項

- （１）入門的研修の実施後、介護分野での就労を希望する者については、介護施設・事業所とのマッチング支援の実施などにより、研修修了者の介護分野への参入を支援すること。マッチング支援の実施の際には、事業者団体や都道府県福祉人材センター等と連携を図ること。

また、入門的研修修了者については、介護福祉士等の届出制度を活用して、都道府県福祉人材センターに対する届出を受け付けることとしているので、研修修了者に対して当該届出制度の周知を図るよう努めること。

- （２）入門的研修は、基礎講座及び入門講座の二段階に分けていることから、企業等で働いている者を対象に講座を開催する場合には、基礎講座のみを実施するなど、柔軟に研修を実施することも可能であること。
- （３）入門的研修修了者については、「介護員養成研修の取扱細則について（介護職員初任者研修・生活援助従事者研修関係）」（平成 30 年 3 月 30 日老振発 0330 第 1 号厚生労働省老健局振興課長通知）Ⅰの 6（６）及びⅡの 6（４）に基づき、各都道府県の判断により、介護職員初任者研修及び生活援助従事者研修課程の一部を免除することができるものとされていること。

修 了 証 明 書

氏名

年 月 日生

上記の者は、介護に関する入門的研修

基 礎 講 座
入 門 講 座
基礎講座及び入門講座

を修了したことを証明する。

年 月 日

都道府県知事・市区町村長 名

(入門的研修実施事業者名)

介護ロボット導入支援事業費補助金募集のお知らせ

～介護ロボット導入経費に対する補助を行います～

1 事業内容

介護ロボット導入による介護従事者の負担軽減や業務の効率化など介護従事者が継続して就労できる環境整備を図るため、介護ロボット導入（購入・リース）の経費に対して補助金を交付します。

2 事業の対象となる介護ロボット

次の1から3の全ての要件を満たす介護ロボット

1 目的要件

日常生活支援における、①移乗支援、②移動支援、③排泄支援、④見守り・コミュニケーション、⑤入浴支援、⑥介護業務支援のいずれかの場面において使用され、介護従事者の負担軽減効果のあるロボットであること

2 技術的要件

次のいずれかを満たすロボットであること

- （1）センサー等により外界や自己の状況を認識し、これによって得られた情報を解析し、その結果に応じた動作を行うロボット技術を活用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する介護ロボット
- （2）経済産業省が行う「介護ロボット機器開発・導入促進事業」において採択された介護ロボット

3 市場的要件

販売価格等が公表されており、一般に購入又はリースできる状態にあること

3 補助額

1 機器（台）につき 30 万円。（ただし、60 万円未満の機器については価格の2分の1）

4 補助対象経費

介護ロボット導入に要する備品購入費、使用料及び賃貸料、需用費及び役務費

※導入の方法がリースによる場合は、3年以上のリース契約の
初年度に係る費用のみが対象となります。

5 補助金の交付対象者

岩手県内で介護サービス事業所を運営する者

6 補助予定台数

15 台程度

（申請が補助予定台数を上回った場合、予算の範囲内で補助台数を調整することがあります。）

7 補助金交付までの流れ

①補助金交付申請書等を県長寿社会課に提出

【提出書類】

- ・補助金交付申請書（様式第1号）
- ・補助金所要額調書（様式第1号別紙2）
- ・導入する介護ロボットのカタログ等
- ・補助事業に係る収支予算書
- ・事業計画書（様式第1号別紙1）
- ・見積書（写し）
- ・事業所の利用定員がわかる書類

②補助金の交付決定

③介護ロボットの導入

④補助金請求書等を県長寿社会課に提出

【提出書類】

- ・補助金請求書（様式第4号）
- ・事業実績報告書（様式第3号別紙1）
- ・見積書、納品書、請求書及び支払いがわかるもの（写し）
- ・補助事業に係る収支決算書
- ・補助金実績報告書（様式第3号）
- ・所要額精算調書（様式第3号別紙2）
- ・事業実施の記録（写真等）

⑤完了確認検査

⑥補助金額の確定

⑦補助金の交付

⑧使用状況報告

導入後3年間使用状況を報告していただきます。

【提出書類】

- ・使用状況報告書（様式第5号）
- ・介護ロボット使用状況報告（様式第5号）

◆補助金交付申請書の受付期間

平成30年7月31日（火）まで

※申請状況等によっては、追加で申請を受け付ける場合があります。

☆お問合せ先☆

岩手県保健福祉部長寿社会課 介護福祉担当

〒020-8570 盛岡市内丸10-1

TEL 019-629-5435 Fax: 019-629-5444

E-mail: AD0005@pref.iwate.jp